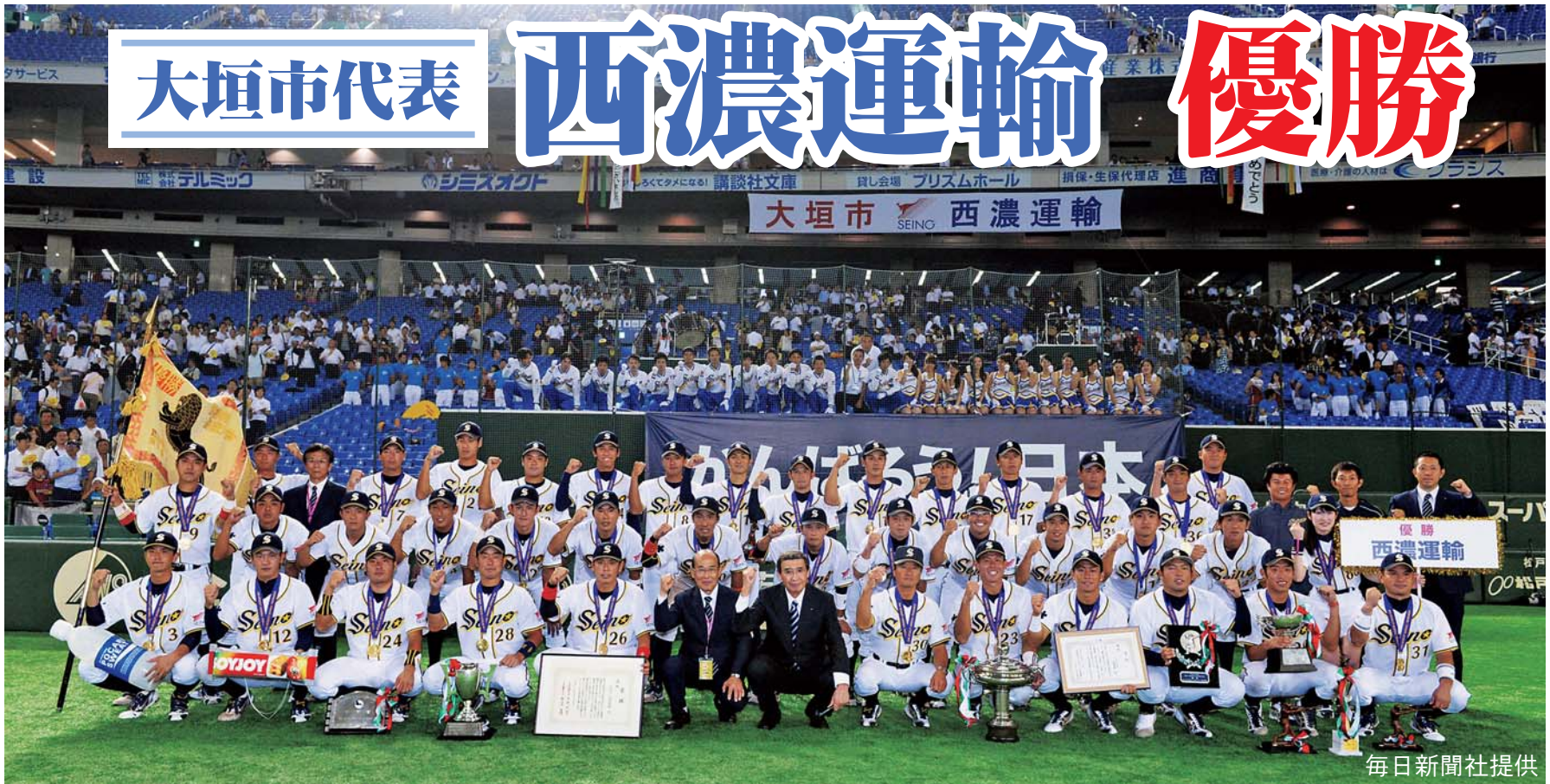


おめでとう

特集
黒獅子旗
までの
軌跡

第85回都市対抗野球大会



毎日新聞社提供

悲願の黒獅子旗 大垣へ

第85回都市対抗野球大会の決勝戦が7月29日、東京ドームで行われ、大垣市代表の西濃運輸は太田市（群馬県）代表の富士重工業と対戦、2対0で勝利し、大会優勝チームに与えられる黒獅子旗を手に入れました。



首位打者と新人賞を獲得した伊藤匠内野手

試合は、西濃運輸が序盤に先制し、中盤にも貴重な追加点。守っては相手の攻撃を0点に抑え、大会参加全338チームの頂点に立ちました。

優勝が決まった瞬間、約1万1,000人が埋まった西濃運輸応援スタンドは、大歓声とともに歓喜の渦に包まれました。



決勝戦を完封し、大会2勝を挙げて最優秀選手賞に輝いた佐伯尚治投手

西濃運輸野球部は、1960年の創部。62年の第33回大会で本大会初出場し、94年には準優勝となりました。今大会は、3年ぶり33度目となる出場で、ついに悲願の初優勝を果たしました。

また、県勢チームとしての黒獅子旗獲得も、67年ぶりの快挙となりました。



沸きかえる市民応援団の前でベンチを飛び出しマウンドに駆け寄る選手ら

大垣市(西濃運輸)	太田市(富士重工業)
0	0
1	0
0	0
0	0
1	0
0	0
0	0
X	0
2	0